

日本ガイシグループは、2016年度から2020年度における環境活動の目標である「第4期環境行動5カ年計画」の達成を目指して年次目標を毎年設定し、環境活動を推進しています。

第4期環境行動5カ年計画(2016年～2020年)の概要

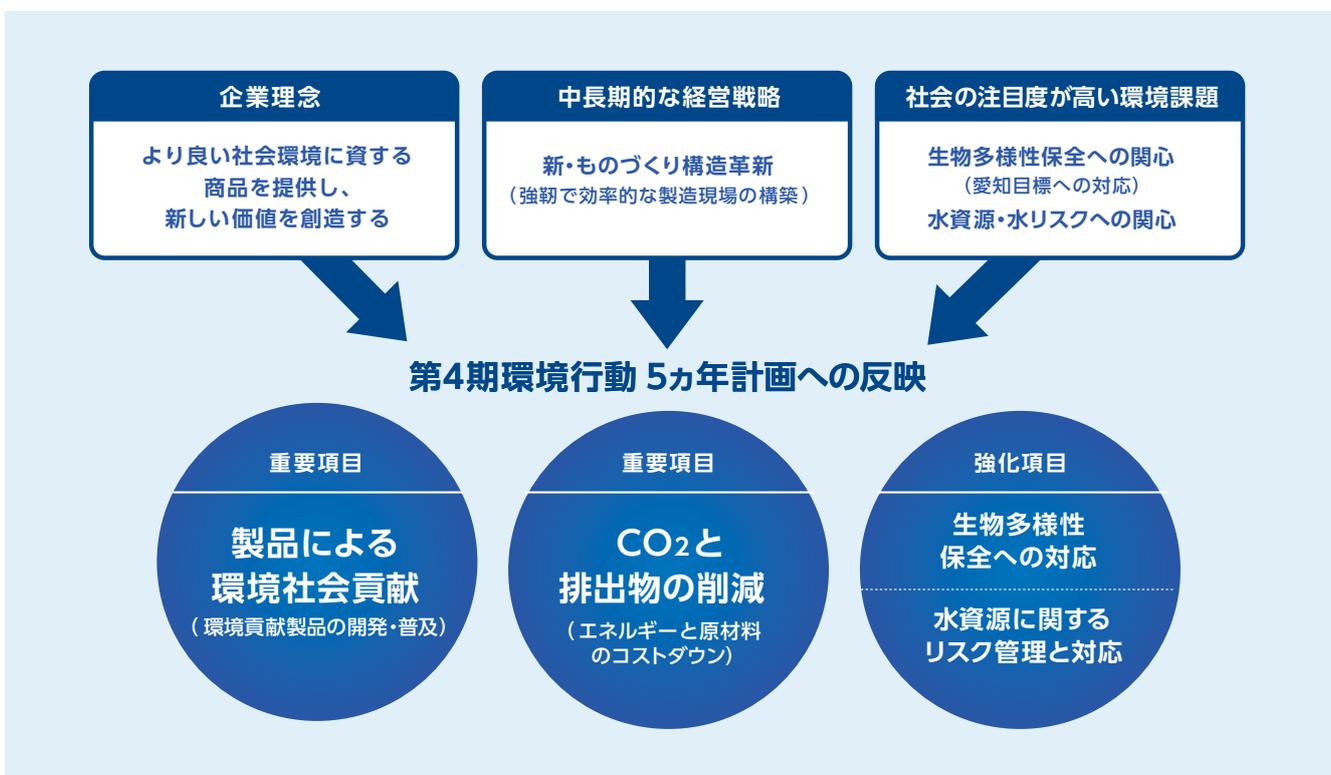
日本ガイシグループでは、5年ごとに環境行動計画を策定しています。2016年度からスタートした第4期環境行動計画では、企業が対応を要求されているグローバルな環境課題を活動項目に網羅した上で、日本ガイシグループの企業理念や中長期的な経営戦略、社会のニーズを鑑み、重要項目と強化項目を設定しました。

日本ガイシグループの企業理念の実現に直結する「製品による環境社会貢献」は、重要項目に設定しました。さらに、競争力強化に向けた中長期的な活動である「新・ものづくり構造革新」と関連性が強い「CO₂削減」「排出物削減」も、重要項目としました。また、社会からの要請が高まっている「生物多様性保全」や「水資源に関するリスク管理と対応」は、強化項目として注力しています。

【基準年・目標年・管理範囲】

基準：2013年度／目標：2020年度

新環境行動5カ年計画は、事業計画「新・ものづくり構造革新」と連携して推進します。このため、基準年と目標年は「新・ものづくり構造革新」と同じ年度に揃えました。また、管理範囲は連結を基本としています。これは、海外での生産増加や国内外の複数の拠点を経由する製品が増加していることを受けたもので、従来の国内と海外で分割した管理よりも、適切で効率的な管理が可能となります。



第4期環境行動5カ年計画における2016年度の進捗結果

本5カ年計画の2016年度目標と実績、2017年度目標および最終年度である2020年度目標を以下に示します。

2016年度については計数目標を設定した項目のほとんどで次年目標を達成したほか、その他の項目についても期首の計画通りに進捗しており、5カ年計画の1年目として順調なスタートを切ることができました。特に排出物削減については、事業部門の努力の結果、期首目標を大きく上回る削減となりました。2017年度についても、グループ丸となって目標達成に向けて環境活動に取り組みます。

区分	項目	管理項目	2016年度			2017年度	2020年度	
			目標	実績	自己評価 ※1	目標	目標	
環境社会貢献	 製品による環境社会貢献	環境貢献製品の開発・普及	売上高伸び率	(連結)2013年度比25%増	(連結)2013年度比26%増	○	(連結)2013年度比30%以上	(連結)2013年度比60%以上
		グリーン調達 の推進	計画進捗率	日本ガイシ国内取引先の「CSR調達ガイドライン」への同意率99%以上	同意率99.4% (一部同意含め100%)	○	国内のレベル維持・海外取り組み方法調査(他社の状況等)	国内のレベル維持・海外の取り組み拡大
	 環境コミュニケーションの推進	地域社会への貢献	計画進捗率	出前授業実施	児童館にて実施	○	出前授業実施	地域と連携した活動の継続・充実
		環境意識の向上	計画進捗率	従業員への環境教育実施、従業員との対話、環境イベントの参加推進	階層別教育実施、CSRトークライブ開催、緑のカーテンなど実施	○	従業員への環境教育実施、従業員との対話、環境イベントの参加推進	環境教育、情報開示の継続・充実
	 生物多様性保全への対応	生物多様性保全ガイドラインに基づく活動の推進	計画進捗率	新たな取り組みの探索/実施	社有地の生物調査を実施、取引先への取り組み要請	○	社有地の生物調査継続、従業員のMY行動宣言への参加推進	愛知目標に対応し取り組み内容を拡充
環境負荷低減	 地球温暖化防止	生産活動に伴うCO ₂ 削減	売上高原単位	(連結)2013年度比9%削減	(連結)2013年度比10%削減	○	(連結)2013年度比11%削減	(連結)2013年度比20%削減
			対BAU削減率 ※2	(連結)2013年度比12.3%以上	(連結)2013年度比15%	○	(連結)2013年度比15%	(連結)2013年度比15%
	 資源の有効利用	サプライチェーンでのCO ₂ 削減	輸送量原単位 ※3	(単独)5年度間平均※4 1%/年削減	(単独)5年度間平均※4 2%/年増加	×	(単独)5年度間平均※4 1%/年削減	(単独)5年度間平均※4 1%/年削減
			生産活動に伴う排出物削減	売上高原単位	(連結)2013年度比13%削減	(連結)2013年度比19%削減	○	(連結)2013年度比17%削減
			対BAU削減率 ※2	(連結)2013年度比11.6%以上	(連結)2013年度比18%	○	(連結)2013年度比19%	(連結)2013年度比20%
			資源循環の推進	再資源化率	(国内)99%以上	(国内)99.2%	○	(国内)99%以上
	水資源に関するリスク管理と対応	計画進捗率	第三者による水リスク調査	5拠点で調査実施	○	水リスク調査継続	拠点別リスク評価と水利用の効率化への取り組み強化	

※1 年度目標に対する達成度の自己評価基準：○ 目標達成 × 目標未達成

※2 対BAU削減率：削減しない場合の排出量に対する削減量の割合を示す（BAUはBusiness as Usualの略）。

この指標は為替等の影響が小さいため、生産部門の改善努力を直接見るすることができます。

※3 輸送量原単位は、トンキロあたりの原油換算燃料使用量です。

※4 算定方法は、省エネ法に従う。